

平成 30 年度岩手県障がい者スポーツ指導者協議会運営方針及び事業計画

1.基本方針

国際的なスポーツイベントに係る機運醸成やスポーツ行政一元化の動きを捉え、地域におけるスポーツ振興のキーパーソンとなる市町村体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等との連携をさらに深め、会員が活動しやすい情報提供に配慮するとともに、県の障がい者スポーツ振興に係る事業委託を受ける岩手県障がい者スポーツ協会の実施事業を活用しながら、障がいのある方々が日常的にスポーツに参加できる環境整備に努める。

2.事業の重点目標

- (1) 会員及び指導者間の交流促進及び活動支援
- (2) 各地域における障がい者スポーツ指導員の活動支援
- (3) 公認障がい者スポーツ指導員及び関係団体への情報提供
- (4) 会員数の拡大

3. 具体的取り組み

(1) 会員数の拡大について

①指導者資格のノーマライゼーション

ア 一般スポーツ関係者への資格取得推進。

イ すべてのスポーツ指導者が障がい者・高齢者等を受け入れられるように取組む。

②資格更新の案内

ア 資格取得者に対して更新状況を通知する（年 2 回）

イ 会費納入については、郵便での振替の他、イベント参加時での集金、所属先及び団体でまとめて集金する等、様々試みることにする。

ウ 会費納入時には役員・会員からも声かけ等、協力、入会案内（※）をお願いしたい。

区分／年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	※H30
公認指導者（新規・更新）	136	161	173	207	237	249	242	240
指導者協議会入会者	36	45	90	106	153	132	110	140
加入率（％）	26	29	52	51	65	53	45	60

参考：公認指導者数と指導者協議会入会者数の推移（※平成 30 年度は目標値）

(2) 公認障がい者スポーツ指導員及び関係団体への情報提供

- ①会員だけではなく、すべての公認指導者への情報発信（継続）
- ②岩手県障がい者スポーツ協会ホームページの有効活用。

(3) 会員及び指導者間の交流促進及び活動支援事業

- ①フォローアップ研修会の企画・実施
- ②県内外の研修及びイベント情報提供
- ③各会員による所属先及び関係者等への周知協力（情報提供）

(4) 組織整備

①部会について

東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会の部会編成に準じて構成する。

ア 研修部・・・各種研修会の企画・運営

イ 情報部・・・情報発信と共有

ウ 指導部・・・指導者の特性把握、活動参加時のフォローアップ、事業マッチング。

エ 各部会の部長は、理事の中から会長が委嘱する。また、部長は、東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会の部会構成員となる。

②ブロックについて

ア 県内を地域別に県央・県北・県南の3つのブロックに分ける（参考資料参照）。

イ 各ブロックのブロック長は、理事の中から会長が委嘱する。

◎参考資料：昨年度の地域別指導者数（H28 年度データ）

※（ ）内の人数は公認指導者数

※別紙 H28.3.31 現在の登録状況（毎月締めで日障協 HP にて更新）

ブロック名	市町村名
県央ブロック 85名（117名） 加入率 73%	盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町、紫波町
県北ブロック 27名（38名） 加入率 71%	八幡平市、二戸市、宮古市、久慈市、岩手町、葛巻町、一戸町、九戸村、軽米町、洋野町、岩泉町、野田村、普代村、田野畑村、山田町
県南ブロック 41名（79名） 加入率 52%	花巻市、北上市、奥州市、一関市、遠野市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、住田町、大槌町
（県外 3名）	北海道、青森、宮城
153名(237名)	合計



(5) 各地域における活動支援

①各地域におけるスポーツ教室開催

ア 県委託事業であるスポーツ教室開催事業等への参加協力

イ 市町村スポーツ担当課、体育協会等との連携事業として開催

ウ 日本障がい者スポーツ協会委託事業（地域におけるスポーツ振興事業）

②市町村体育協会や総合型地域スポーツクラブとの協同事業開催

(6) 選手育成強化学業への支援

①全国障害者スポーツ大会実施競技の強化練習会への参加

ア 個人競技・・・陸上、水泳、アーチェリー、卓球、FD、ボウリング

イ 団体競技・・・車いすバスケットボール、バスケットボール（知）

グランドソフトボール、バレーボール（聴、知、精）

サッカー（知）、ソフトボール（知）、フットベースボール（知）

ウ 練習日程・・・岩手県障がい者スポーツ協会ホームページにて随時更新

②上記以外の競技について（調査中～活動実績確認後はHPで情報提供します）

ア パラリンピック種目等・・・ボッチャ、車いすラグビー、ブラインドサッカー等

イ その他・・・アンプティサッカー、電動車いすサッカー等

※高い競技性・専門性等を伴う活動に対する要望にも配慮する。

平成30年度収支予算書(案)

(自H30.4.1～至H31.3.31)

1 収入

単位:円

区 分	本年度予算額	前年度決算額	増 減	摘 要
会 費 収 入	140,000	112,000	28,000	会員数140名×1,000円
還付金収入	211,200	212,960	△ 1,760	岩手県の指導員登録者数(予定) 240名×1,100円×80%
助 成 金	50,000	370,000	△ 320,000	東北ブロック活動費
雑 収 入	586	3	583	貯金利子
繰 越 金	409,214	409,214	0	前年度繰越金
合 計	811,000	1,104,177	△ 293,177	

2 支出

単位:円

区 分	本年度予算額	前年度決算額	増 減	摘 要
会 議 費	18,000	13,000	5,000	役員会、総会等会議経費
事 業 費	300,000	310,600	△ 10,600	研修会等経費110,000円 各部会活動費30,000円×3部会=90,000円 県外研修参加費補助100,000円(10名×10,000円)
印刷製本費	167,000	151,660	15,340	資料印刷代、案内・封筒印刷代
通 信 費	170,000	163,982	6,018	送料、官製ハガキ、切手代等
事 務 費	10,000	3,598	6,402	事務用品等、振込手数料等
登 録 費	5,000	5,000	0	東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会年会費
予 備 費	141,000	0	141,000	
合 計	811,000	647,840	163,160	

※各部会活動費として30,000円を計上している。